

会員増強運動

最終年の取り組みに向けて

平成26年度から5か年計画で実施している「老人クラブ『100万人会員増強運動』」は、今年度が最終年になります。

残す1年、各段階で出来る限りの取り組みを行い、会員増を目指しましょう。

これまでの運動結果

3年次（28年度）までの状況では、都道府県・指定都市段階で会員が増えた老連はなく、運動開始時から平均9・8%、約57万人の会員減少となっています（4年次・29年度の状況は今後判明）。一方、265の市区町村老連（15%）では会員が増加しています。

会員が増加した市区町村老連の特長

（128老連のアンケート結果）

- 3年次に会員増を果たした市区町村老連にアンケートを実施したところ、以下の特長的なことが判明しました。
 - ・クラブ数の増減
 - 1老連あたり平均0・7クラブ増
内訳：平均1・1クラブ増、0・4クラブ減
 - ・運動推進の「キーパーソン（中心人物）」は誰か
 - 単位クラブは「会長」：84%と多い。
 - 市区町村老連は「会長以外のリーダー」：会長の割合は36%に留まる。
 - ・会員増加のポイントや効果をあげた取り

- 組み 次の六つの取り組みに分類できる。
- 1) 声かけ、戸別訪問
 - 2) 活動による勧誘、新行事の実施
 - 3) 自治会等他機関との連携
 - 4) 組織的推進（実績公表、意識づけ等）
 - 5) クラブ新設、解散防止
 - 6) 広報・PR活動

年齢別：高年会員（84%）が、若手会員（16%）より多い。
男女別：男性会員（60%）が、女性会員（40%）より多い。
老人クラブ会員の男女比は4対6と女性が多いのですが、ここでは逆転しています。今後は女性会員の増員が期待されます。

新規会員の状況

年齢別：高年会員（84%）が、若手会員（16%）より多い。

男女別：男性会員（60%）が、女性会員（40%）より多い。

老人クラブ会員の男女比は4対6と女性が多いのですが、ここでは逆転しています。今後は女性会員の増員が期待されます。

新規会員の状況

年齢別：高年会員（84%）が、若手会員（16%）より多い。

男女別：男性会員（60%）が、女性会員（40%）より多い。

老人クラブ会員の男女比は4対6と女性が多いのですが、ここでは逆転しています。今後は女性会員の増員が期待されます。

老人クラブ会員へのアンケートを実施

現在の会員に3項目のアンケート（①加入のきっかけ、②活動で楽しいこと、③加入して良かったこと）を実施しました。この結果を、運動における未加入者へのアプローチ、活動の魅力づくりの参考にしてください。

老人クラブ会員へのアンケートを実施

- （平成29年6～7月実施、6府県市老連協力、1711名回答）
- | 回答者の年代・性別 | 力、1711名回答 |
|--------------------------|-----------------------|
| ・年代 | 60歳代24・3%、70～74歳20・2% |
| %、75～79歳23・4%、80歳以上31・9% | |

2) 系統別活動分類

- ① 健康活動系32・0%

- ② 交流系28・5%

- ③ 旅行系16・6%

- ④ 趣味系14・4%

3) 男女別

- 男性

- ① 健康系35・1%、② 交流系27・4%

- ③ 旅行系18・6%

参考 系統別活動の代表的内容

（1）の回答を除く

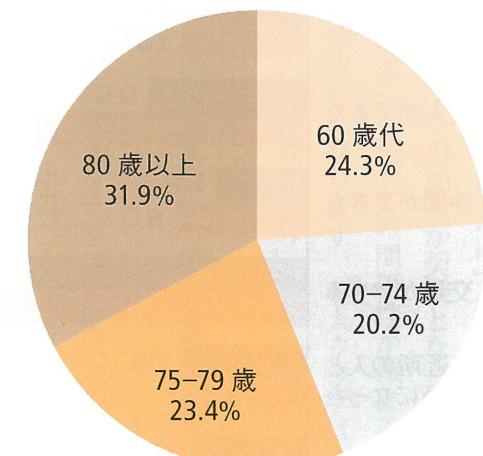
健康系：ニュースポーツ、運動会・各種スポーツ大会、運動・体操等

交流系：お話・お茶会、交流、一緒に活動すること等

趣味系：カラオケ、ゲーム、ものづくり等

（旅行系は旅行のみ）

アンケート回答者の年代・性別



男性

女性

52.8%

47.2%

問1 老人クラブに加入したきっかけ

- 半数以上は「勧誘」がきっかけでした。

1 クラブからの勧誘

31・6%

2 友人・知人からの勧誘

24・8%

3 自分から加入了

15・1%

その他、町内会・地域の勧め5・6%、近所付き合い5・0%、家族が加入していた4・2%など

問2 活動のなかでもっとも楽しい活動

1人1活動を記入いただきましたが、回答された活動は48種目に及びました。この結果から「楽しい活動」は個人差が大きく、多様であることがわかりました。

1) 活動種目別

① 旅行16・6%

2) 活動種目別

① 旅行16・6%

問3 加入してもつとも良かつたこと

1 交流ができる

28・0%

2 友人・仲間ができた

22・3%

1 市区町村老連との協議の場づくり（都）

これまで会員を減らしていることから、まずは現状の会員数を維持しながら、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。

最終年の取り組み

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

4 互いに支え合い、頼れる関係性をめざして

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

2 新規クラブの立ち上げ（主に市区町村老連の実施項目）

解散の一番の原因是、クラブ会長の後継者がないことです。あらかじめ後継リーダーを育成しておくことが望ましいのですが、急な場合でも、自治会等の協力を得て、解散を防ぐ取り組みを進めましょう。当該クラブで解決できない場合も多いですので、地区や市区町村の老連における支援体制が必要とされ

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

3 解散クラブの防止（主に市区町村老連、地区老連の実施項目）

解散の一番の原因是、クラブ会長の後継者がないことです。あらかじめ後継リーダーを育成しておくことが望ましいのですが、急な場合でも、自治会等の協力を得て、解散を防ぐ取り組みを進めましょう。当該クラブで解決できない場合も多いですので、地区や市区町村の老連における支援体制が必要とされ

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

「これまで会員を減らしていることから、昨年度から継続して次の四つを重点に取り組みを推進します。」

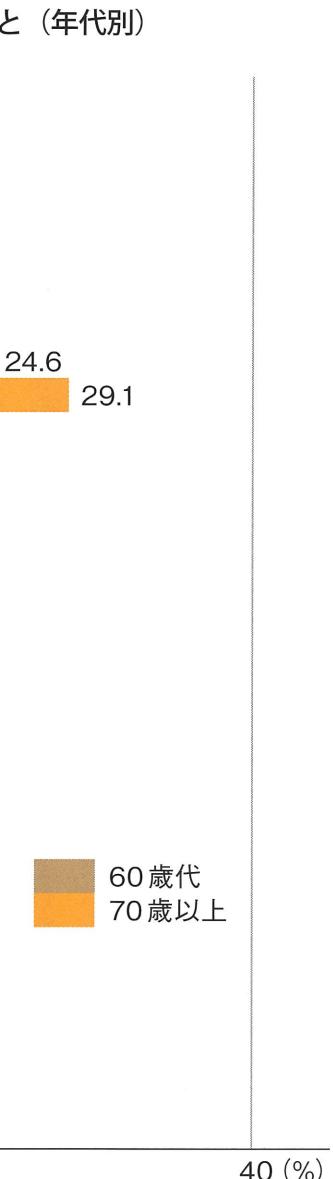
- 3 活動することができる 13・0%
- 4 知り合いができた 10・0%
- 5 近所、地域つながりができた 9・5%

・年代別（60歳代、70歳以上）に比較した

左表では、60歳代は「知り合いができた」「近所の人と交流するようになった」「地域つながりができた」が多く、70歳以上は「友人・仲間ができた」「交流ができる」と「近所の人と交流するようになった」「地域つながりができた」が多くなっています。

1 まずは身近な人が勧誘を加入了のきっかけは、クラブや友人、知人からの「勧誘」であることが、改めて確認できました。

未加入者へのアプローチは、身近な人たち（クラブの役員・会員、友人・知人、自治会の関係者等）からの「勧誘」が最も効果的な方法と考えられます。



2 「活動の魅力」は人それぞれ

実際に48種目の活動があげられ、最も人気の高い「旅行」でも2割に届きません。楽しい活動は個人差が大きく、多様化しています。

ここからは、「健康、交流、旅行、趣味」をキーワードに、多種多様な活動が求められていることがわかります。そのことから、これからのクラブは一人のリーダーによる運営では難しく、多様なリーダーが役割分担して進めることが「活動の魅力」づくりには不可欠であると考えられます。

3 他者との関係性に喜びを見出す

老人クラブに加入して地域に「知り合

ます。

特に、都道府県・指定都市老連の女性代表者からは、地域で女性リーダーが積極的に会長の役を担うことで、クラブの解散を防ごうという声が上がっています。女性パワーにも期待しています。

4 単位クラブは純増をめざす

老人クラブ実態調査（平成26年度、5年ごとに実施）では、1クラブ平均0・6人減少という結果であり、あと一息というところです。

会員の自然減もあるなかで、新規会員を獲得しても差引マイナスになるというきびしい状況ですが、リーダーのみならず全会員の協力を得て、クラブでの純増につなげましょう。

「会員増強運動全国事例集」を参考にしていただき、それぞれのクラブ・老連においてまた新たな取り組みを加えながら、ぜひ会員増につなげていただきたいと思います。

老人クラブのメリットは、高齢期になつてからの仲間づくり、健康長寿を実現できることではないでしょうか。